

# 調布市総合計画 (基本構想・基本計画)について

令和4年11月24日

第19回調布市基本構想策定推進市民会議資料

まちの将来像

## ともに生き ともに創る 彩りのまち調布

調布市が目指すべき将来都市像と、それを実現するための基本方針

- まちの将来像
- 3つの基本理念
- 8つの基本目標
- 3つの基本姿勢

基本構想  
(8年)

基本構想に即して、その基本方針を具現化するための主な施策を体系的に示すもの

基本計画  
(前期4年・後期4年)

- 前期基本計画(検討案)
- 総論
  - 5つの重点プロジェクト
  - 分野別計画 (31施策)
  - 行革プラン (6方針)

予算, 事業の実施等

### 調布市における基本計画の性格

- 行財政改革の具体的な取組を一体的に位置付け
- 主要な事業の内容などを一体的に示し、実効性を確保
- 市長任期と連動した4年間でローリング
- 行政評価(PDCAマネジメントサイクル)による計画の推進

### 計画期間

年度	和暦 (西暦)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
基本構想	新たな基本構想(8年間)								
基本計画	前期基本計画(4年間)					後期基本計画(4年間)			
市長任期	→				→				→

## まちの将来像 『ともに生き ともに創る 彩りのまち調布』

まちの将来像  
キャッチコピー

『調布×未来 CHOFUTURE』

まちづくり  
の基本理念

個の尊重

共生の充実

自治の発展

共生の充実『パラハートちょうふ～つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち～』

### 8つの基本目標

基本目標1

安全に安心して住み続けられるために

基本目標2

安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために

基本目標3

みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために

基本目標4

学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために

基本目標5

多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために

基本目標6

調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために

基本目標7

地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために

基本目標8

豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために

施策

### まちの将来像の実現に向けた3つの柱

市民が主役のまちづくり

市民のための市役所づくり

計画的な行政の推進

行革プラン

## 次期基本計画（令和5年度～令和8年度）の概要

### ■基本的な考え方

- 現行基本構想・基本計画におけるまちづくりの基本目標、施策体系等の基本的な枠組を継承
- 市を取り巻く社会潮流や新たな課題への対応を踏まえ2030年代を展望した計画として策定

### ■計画の前提

- 人口 令和12年（2030年）に約24万2000人でピークを迎える見込み
- 財政 財政の健全性維持を基本に、税制改正や社会状況の変化等を捉えた市税や各種交付金等の収入見通しの下、子育て施策や教育、高齢・障害者福祉等に関する経費や公共施設やインフラの老朽化対応など、次期基本計画期間中における財政需要を踏まえた財政フレームを作成

### ■計画期間

年度	和暦 (西暦)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
基本構想		新たな基本構想(8年間)							
基本計画		前期基本計画(4年間)				後期基本計画(4年間)			
市長任期		→				→			

### 基本計画策定の視点

#### ○調布のまちの骨格づくりの大きな節目

京王線の地下化を契機に南北一体の都市基盤に取り組んできた中、次期基本計画期間には調布駅前広場及び鉄道敷地整備が最終段階となるなど『調布のまちの骨格づくり』は大きな節目を迎える

#### ○オリパラレガシーの継承・発展

ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会が調布のまちで開催されたことによる、まちづくりの多面的効果をレガシーとして継承・発展させるとともに、とりわけ「パラハートちょうふ」を標榜し多様な主体と連携した取組を『共生の充実』につなげていく

#### ○新型コロナウイルス感染症への対応

感染症対応の3つの柱（感染症拡大防止に向けた取組、市民生活および子どもたちへの支援、地域経済への支援）に基づく対応を継続

#### ○重要課題への対応

- ・ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素・循環型社会の形成
- ・「どこでも市役所」の実現に向けた市民サービスのデジタル化、行政内部のデジタル化、
- ・地域社会のデジタル化の視点を踏まえた、誰ひとり取り残されない、人に優しいデジタル化の実現に向けた取組
- ・調布スマートシティ協議会によるデジタル技術を活用し、多様な主体が連携した持続可能な社会的課題の解決に向けた取組の推進など

## 次期基本計画の構成（案）

### 総論

基本計画の位置付け，計画期間，構成，基本計画の特色，施策体系  
策定に当たっての前提（人口，財政，土地利用）

## 5つの重点プロジェクト

【重点1】安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト【防災・減災，防犯，感染症対策】

【重点2】調布の宝である子どもたちを応援するまちをつくるプロジェクト

【子育て家庭支援，子ども政策連携（子ども若者支援，ヤングケアラー支援），教育】

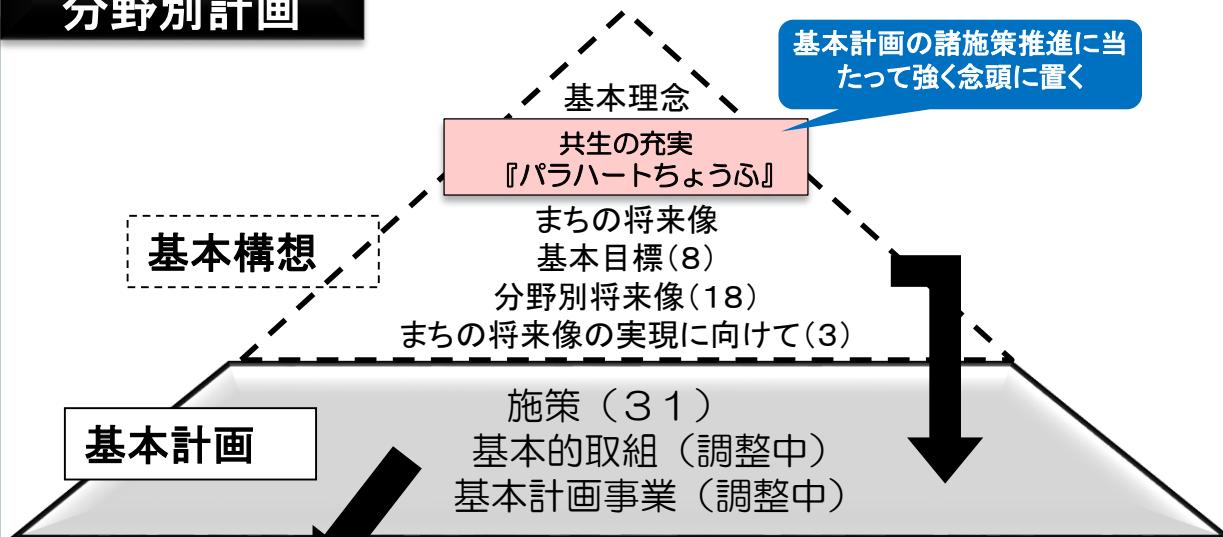
【重点3】だれもが自分らしく安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト【地域福祉，高齢者福祉，障害者福祉，健康づくり】

【重点4】にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト【都市計画，市街地整備，道路整備，交通，産業・観光振興】

【重点5】人と自然がおりなすうるおいのあるまちをつくるプロジェクト

【脱炭素社会実現に向けた取組，循環型社会形成，崖線・緑地保全，公園整備】

## 分野別計画



### 施策推進，成果向上の視点

施策等の推進・成果向上やその他施策への波及効果を期待する観点から，下記の視点について各施策における先駆的な取組やモデル事業をピックアップし掲載

デジタル技術の活用

共創のまちづくり

脱炭素社会の実現

フェーズフリー

## 計画の推進（行革プラン）

※個別プランや基本的取組等について検討中

共創のまちづくりの実践

行政のデジタル化推進

効率的な組織体制の整備

人材の確保・育成

計画行政の推進

公共資産の最適化（ファシリティマネジメント）

## 地域別まちづくり

東部・北部・南部・西部の各地域の特性を踏まえた，今後のまちづくりの基本方向